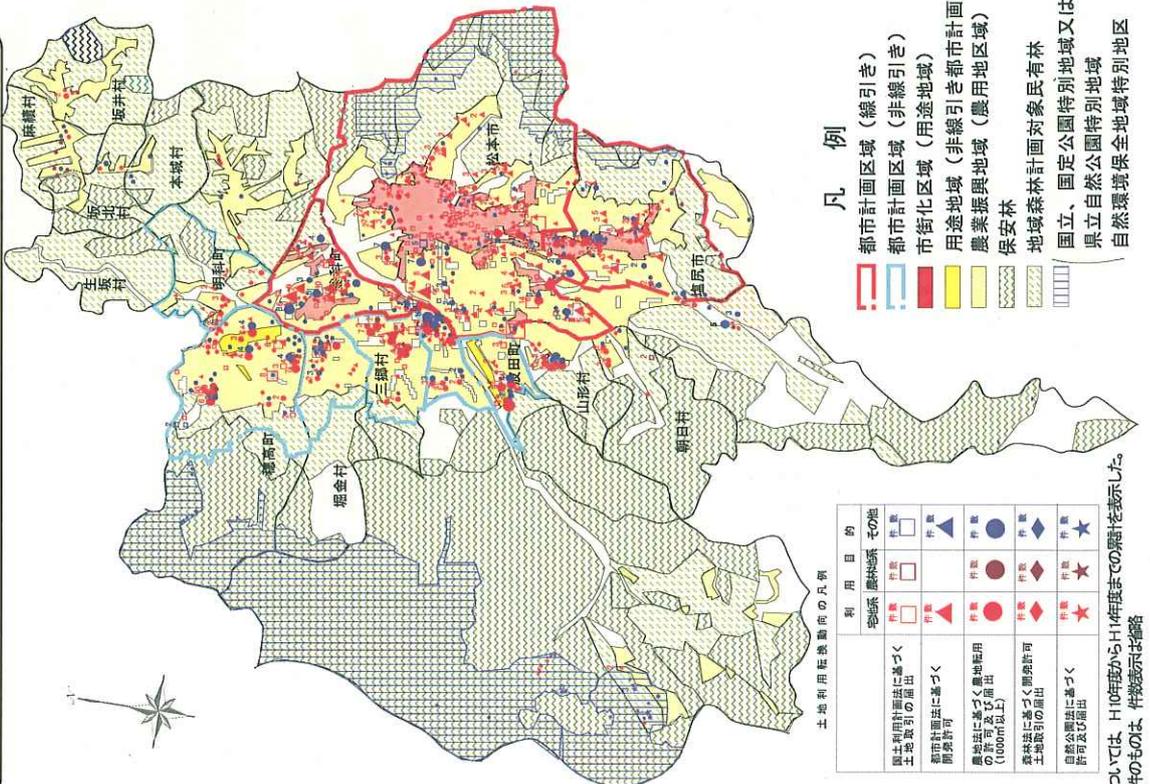


松本・安曇野地域における土地利用転換の動向

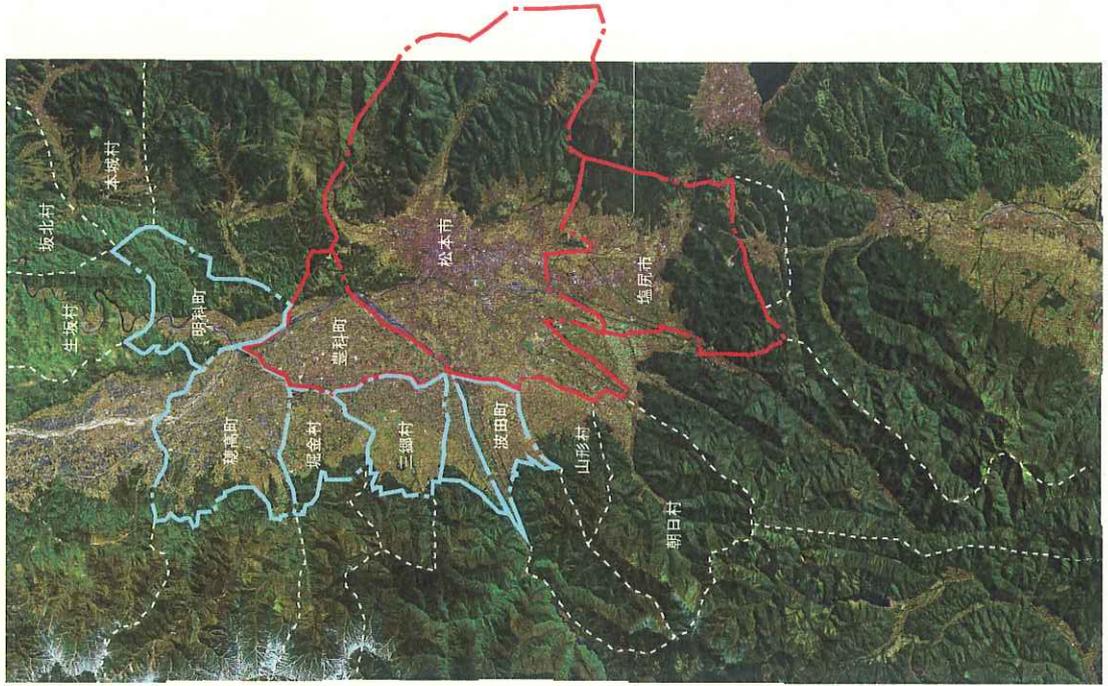
○ 松本・安曇野周辺地域では線引き都市計画区域の外側(旧梓川村、旧穂高町など)及び都市計画区域外(山形村)において農地転用が多い。

松本地域における土地利用に関する各種法令等による主な規制状況と土地利用転換の動向 (市町村名、行政区域界はH17.4.1現在)



上記については、H10年度からH14年度までの規制を表示した。件数1件のものは、件数表示は省略

ランドサットによる写真での状況 (市町村名、行政区域界はH17.4.1現在)

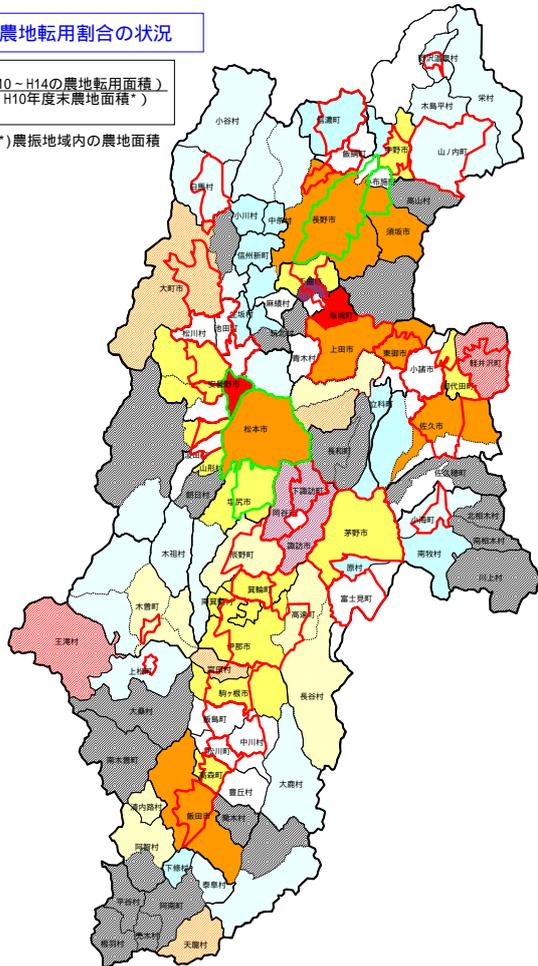


農地転用面積の割合（長野県農政部農政課データより）

農地転用割合の状況

(H10～H14の農地転用面積)
(H10年度末農地面積*)

*)農振地域内の農地面積



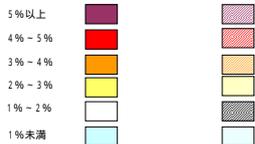
注)市町村名及び行政区境界は、H18.3.31現在

- 都市計画区域(非線引き)
- 都市計画区域(線引き)

農地面積⁽¹⁾に対する農地転用面積⁽²⁾の割合(%)

*1)H10年度末農地面積(農振地域内)
*2)H10～H14の農地転用面積累計

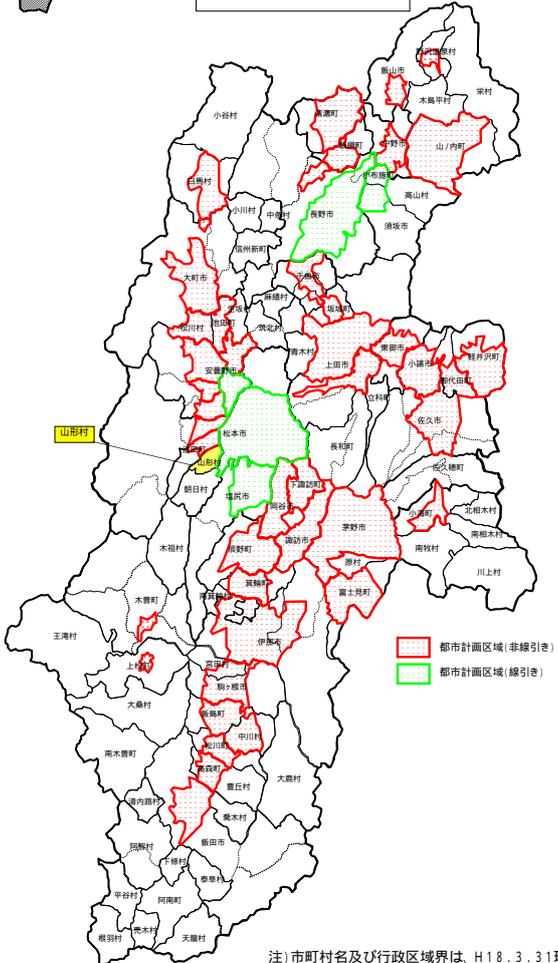
農地面積が行政区面積の10%(県平均)以上の場合 農地面積が行政区面積の10%(県平均)未満の場合



農地面積に対する農地転用の割合は都市計画区域指定市町村において高くなっている。転用割合が比較的高く、都市計画区域未指定の市町村は「山形村」である。

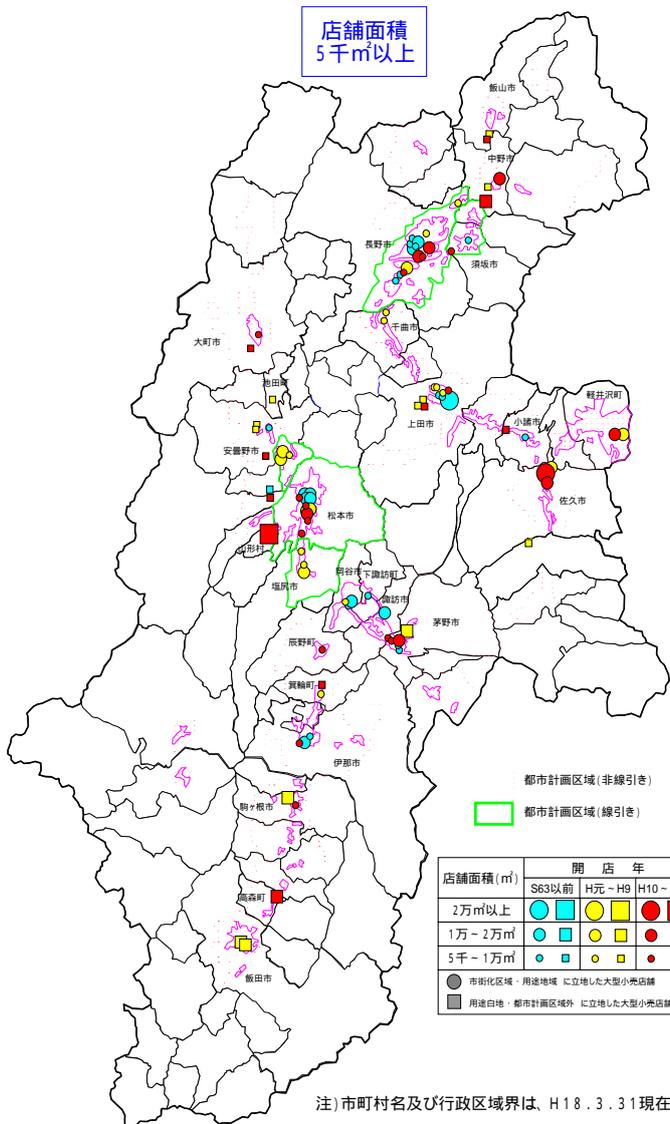
農地転用割合が比較的高いものの都市計画区域未指定の市町村

左図の行政区面積に占める農地割合が10%以上かつ農地転用割合2%以上で都市計画区域未指定市町村をピックアップ

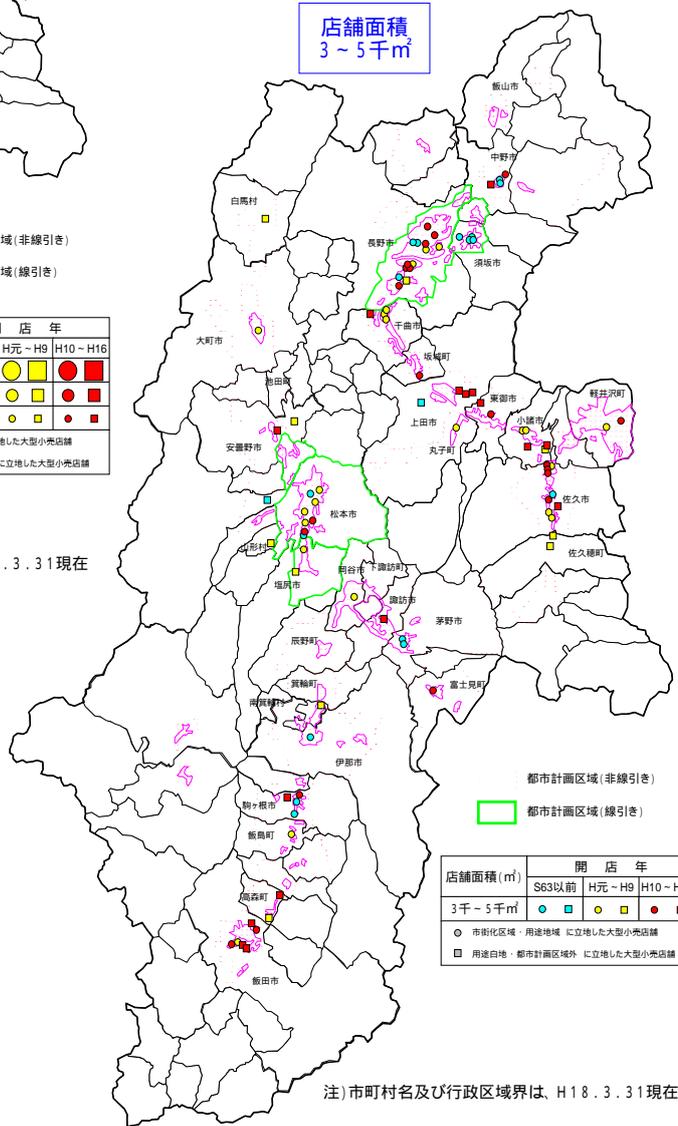


注)市町村名及び行政区境界は、H18.3.31現在

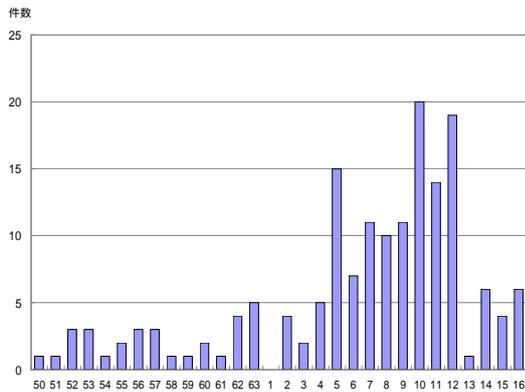
(旧)大店法に関する運用の規制緩和(平成2年)以降、大規模小売店の出店が顕著である。また平成2年以降は、用途白地・都市計画区域外へ立地しているものも多い。



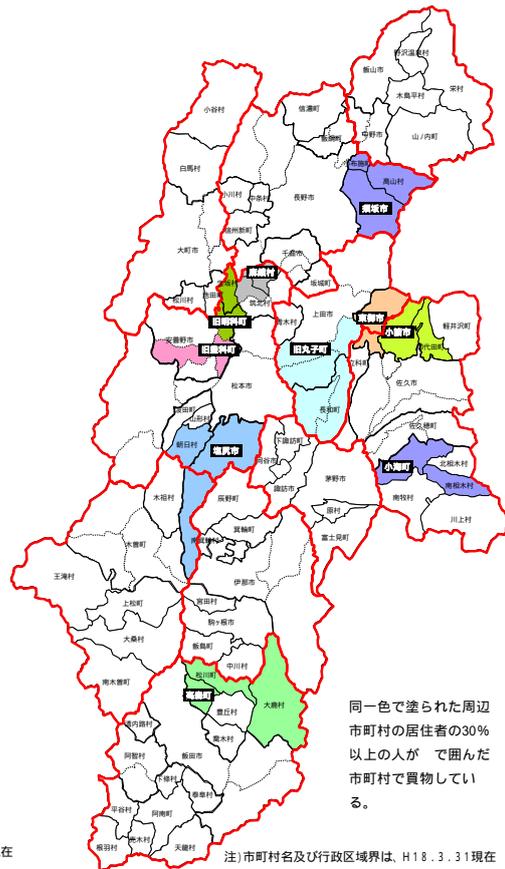
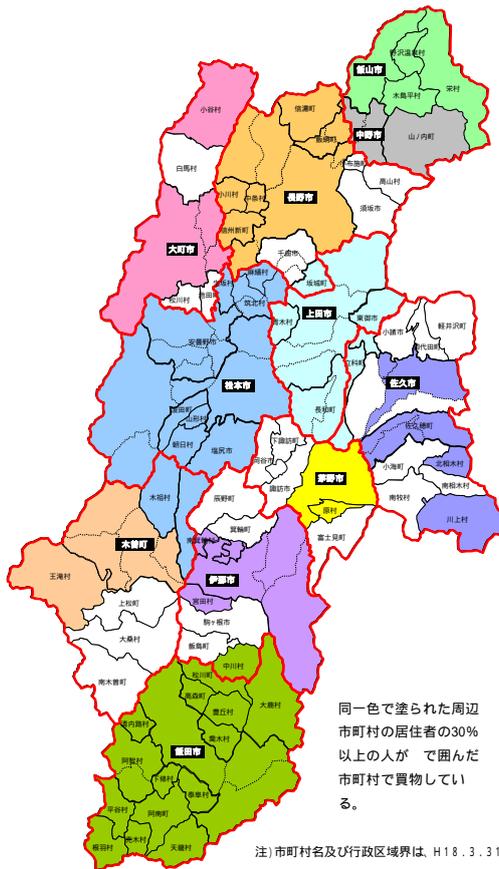
大規模小売店舗(3,000㎡以上)出店位置図
(出典:大店法に基づく届出集計)



大規模小売店舗(3,000㎡以上)出店動向



平成元年度 商圈(30%以上)【出典:長野県商圈調査】



平成元年度からの主な変化

- 佐久市の商圈が拡大
新幹線開通、「佐久駅」近郊の大型商業施設の立地
- 安曇野から松本市への買物客減少
安曇野地域の商業施設の増
- 木曾地方から松本市への買物客増加
(木曾地方の吸引都市の消滅)
- 小規模な商圈の減少
大型店等の立地による商圈広域化

平成15年度 商圈(30%以上)【出典:長野県商圈調査】

